

## 会議等経過報告書

1. 件名	令和元年度 第2回 大船渡市立図書館協議会
2. 日時	令和元年 11月29日(金) 午前9時55分～午前11時40分
3. 場所	大船渡市民文化会館(会議室)
4. 出席者	委員：上関みさ会長、藤村敏夫副会長、今野隆弘委員、山崎友子委員 図書館：金野館長、水野補佐、森係長、菅野係長、中井司書

### 会議等の内容

#### 1 開会(進行：水野館長補佐)

委員出席状況の確認。川村委員、江刺委員の欠席を報告した。

#### 2 会長挨拶(上関会長)

#### 3 館長挨拶及び職員紹介(金野館長)

#### 4 報告

報告第1号 令和元年度図書館事業の実施状況及び利用状況(4月～9月)について

報告第2号 令和元年度図書館資料購入(所蔵)状況(4月～9月)について (森係長説明)

##### (金野館長)

資料4ページの読書感想文コンクールの成果の部分で、「入賞者を表彰し、児童生徒や保護者等に喜ばれた。」を「喜ばれている。」に訂正をお願いしたい。今年度の表彰式は12月下旬を予定している。

#### ■(上関会長)

小学生の生活科見学だが、日頃市小学校の児童が、図書館から借りた本でも、もしか号で返却できると教えられ、とてもうれしそうだった。図書資料の未返却者へ督促しているようだが、未返却者はもしか号で返すことができるということを知らないかもしれない。周知を図れば返却者が増えるかもしれない。

#### ■(今野委員)

自分が校長時代から事業数はほとんど変わっておらず、とてもたくさんの事業を行っているなという印象はあるが、事業の取捨選択を考えてみてもいいのではないかと思う。子どもが減少してきている中、本当に本が好きな人に利用しやすい環境を提供することで利用者が増えていくのだと思う。

今年度前半まで事業を行ってきて、例えばこの事業はあまり効果が無く、減らせないかといった事業はあるか。

##### (金野館長)

特定の事業というわけではないが、例えばもしか号。車両が古いので故障が多い。その度に修繕を依頼したり、支払い処理をしたりと事務作業で時間を取られる。現在、来年度予算の要求時期となっているが、来年度は、財政状況も加味しつつ、小型の移動図書館車の購入を要求しているところである。小型車となった際は、貸出資料の入替を頻繁に行うなどにより、利用者へのサービス向上に繋げていきたい。

また、その他の部分で説明させていただくが、読書感想文コンクールについて、委員の皆様からもご意見をいただきながら検討してきたが、今年度をもって終了とした。これに代わる事業により読書推進を図っていくこととした。

職員体制だが、現在は春先と状況が変わっており、職員が2人増え順調に事業が進んでいるところである。

効率的・効果的な事業に取り組んでいくという意識を常に持ちながら進めてまいりたい。

■（上関会長）

第1回協議会においても、事業を少なくする勇気をもって欲しいと話題になったので、今後においても効率的な事業の推進に取り組んでいただきたい。

■（山崎委員）

市民文化会館連携事業において、リアス・ウェーブ・フェスティバルでの移動図書館の展示で利用者が少ないということだったが、読書推進事業の企画を何か組み合わせることで効果が期待できるのではないか。

（金野館長）

是非、検討させていただく。来年度のリアス・ウェーブ・フェスティバルで実行したい。

■（藤村委員）

利用者数や利用冊数の減少だが、人口減少が一番大きな理由である。子どもの数も減少している。あまり数に固執しなくても良いのではないかと。図書館の運営の質を高めていくのが、我々に課せられている役割だと思う。図書展などとても細やかに行われているので、ここをもっとアピールしていけばより良くなっていく。自分もリアスウェーブに来てみたが、例えば途中に大型本を展示してあるだけで、手に取ってもらったりすると思う。

また、今年度の図書の購入数も昨年に比べて多くなっているため、早めの手当てができていますと感じ、安心している。

今年度、校長会で研修をしたが、貸す側に本を読む余裕が無いと何が良い本かわからない。

また、人気のある図書は、1冊に限らず、3、4冊購入し、貸し出すなどの工夫があれば喜ばれると思う。

■（上関会長）

これまでも話題になったが、利用者数や貸出冊数というのは何のために集計しているのか。

（金野館長）

利用者数や貸出冊数というのは、読書推進が図られているかを判断する一つの指標である。図書館には新聞や雑誌を読みに来るだけの方もいるが、カウンターが壊れているため、読書推進や図書館利用のバロメーターとしている。

また、図書館運営の質を高めていかなければならないというのは、そのとおりである。質を高めるといえること言えば、今年度、司書が復職後は、館内の図書展示が華やかになった。今後も職員の力を合わせ、質を高めていきたい。

■（上関会長）

利用者数や貸出冊数というのはバロメーターの一つと捉え、数値に固執するのではなく引き続き質を高めていっていただくことを今後もお願いしたい。

5 協議

協議第1号 令和2年度図書館事業計画（案）について

協議第2号 令和2年度図書館資料購入計画（案）について （森係長説明）

■（藤村委員）

移動図書館車の更新は来年度にできそうなのか。

（金野館長）

予算要求している段階だが最終的な決定は来年3月の議会となる。

■（藤村委員）

故障、修理等を何年も繰り返していけば、長い目でみれば不経済である。

**(金野館長)**

移動図書館車は小学校や高齢者施設などを巡回し、喜ばれており、無くてはならないものである。

■ **(上関会長)**

来年度の図書館資料の展示の計画で、オリンピック関連の図書展示という話があったが、このように時宜に適った企画を開催していくよう頑張ってもらいたい。

また、大活字本までいなくても、同じ本であっても、後年の版の方が字が大きいのでそのような本の購入を検討してもらいたい。最近の本は字が大きくなっていたりするものなのか。

**(中井司書)**

最近の本は、段組や字体を工夫するなど出版社で読みやすくしている。

■ **(藤村委員)**

図書の購入について、2版、3版を購入した方が、誤植等が訂正されており、良いらしい。新しいからといって購入するのではなく、版を重ねた図書を購入した方が良い場合がある。

■ **(上関会長)**

思い切って事業を少なくするといった勇気を持って一つ一つを充実させるよう、次年度も取り組んでいただきたいと思う。

**6 その他**

**(1) 会計年度任用職員制度の導入について**

■ **(今野委員)**

応募する職員は毎年試験を受けなければならないのか。

**(水野館長補佐)**

試験になるか、書類選考になるか、選考方式はまだ決まっていない。

■ **(今野委員)**

いずれにしても1年で更新ということですよ。

**(水野館長補佐)**

国では先んじてこの制度を実施しており、2回まで選考を経ずに勤務評定を経て更新ができると伺っているが、一方で同じ職員を継続して雇用していくというのは、広く雇用の機会を設けるという観点からはいかがかという考えもある。

■ **(今野委員)**

1年で全員交代ということになれば、指導する側も大変だろう。

**(金野館長)**

市民サービスの維持・向上のため、民間委託など検討していく必要があると考えている。近年、図書館支援の企業へ指定管理や委託をする図書館が増えてきている。

**(2) 来年度の読書感想文コンクールについて**

■ **(上関会長)**

市読書感想文コンクール廃止による代替事業もしっかりと示されている。市読書感想文コンクールは、廃止で良いと思う。

■ **(藤村委員)**

大船渡地区の学校図書館協議会の立場からだが、子どもが2点ではなく1点に取り組む、そして教師が選んだ作品をそのまま県へ推薦できるということで、市読書感想文コンクールは廃止として良かったと思う。

以前、(他地区の)図書館協議会では、何百点という作品の中から、教師を集めて20日間程の日程をとり審査をしていた。大船渡地区では、学校で選考したものを出すことになっているので審査は無かった。本当は、市の審査員と一緒に審査できれば一番良い形だが、現在の働き方改革等を踏まえれば、難しいところである。今後は、学校で推薦された作品をそのまま県へ上げるということになり、来年度以降も読書感想文自体は引き続き実施していくことになる。

### (3) 新聞保存年限の見直し(案)について

#### ■(今野委員)

県立図書館での複写サービスがあるので、保存年限はもっと短期間でも良いのではないかと。東海新報は永年、岩手日報は3年、他の全国紙は1年でも良いのではないかと。

#### (金野館長)

閲覧されているのは、ほとんどが東海新報及び岩手日報である。そのため岩手日報は5年とした。

#### ■(藤村委員)

複写申込の件数は少ないので、あまり長期間の保存でなくても良いと思う。

#### ■(上関会長)

発刊元の各新聞社に保存してあるだろうし、県立図書館にも保存してあるので短期間でも良いのではないかと。

#### (金野館長)

旧図書館及びその隣の倉庫は来年度取壊しが予定されており、ここに保存してある10年前よりもっと古い新聞の廃棄が急務となっている。

当面は、この案のとおり期間とし、その後は利用状況を見ながら見直しを図っていくこととしたい。

## 7 閉会(水野館長補佐)